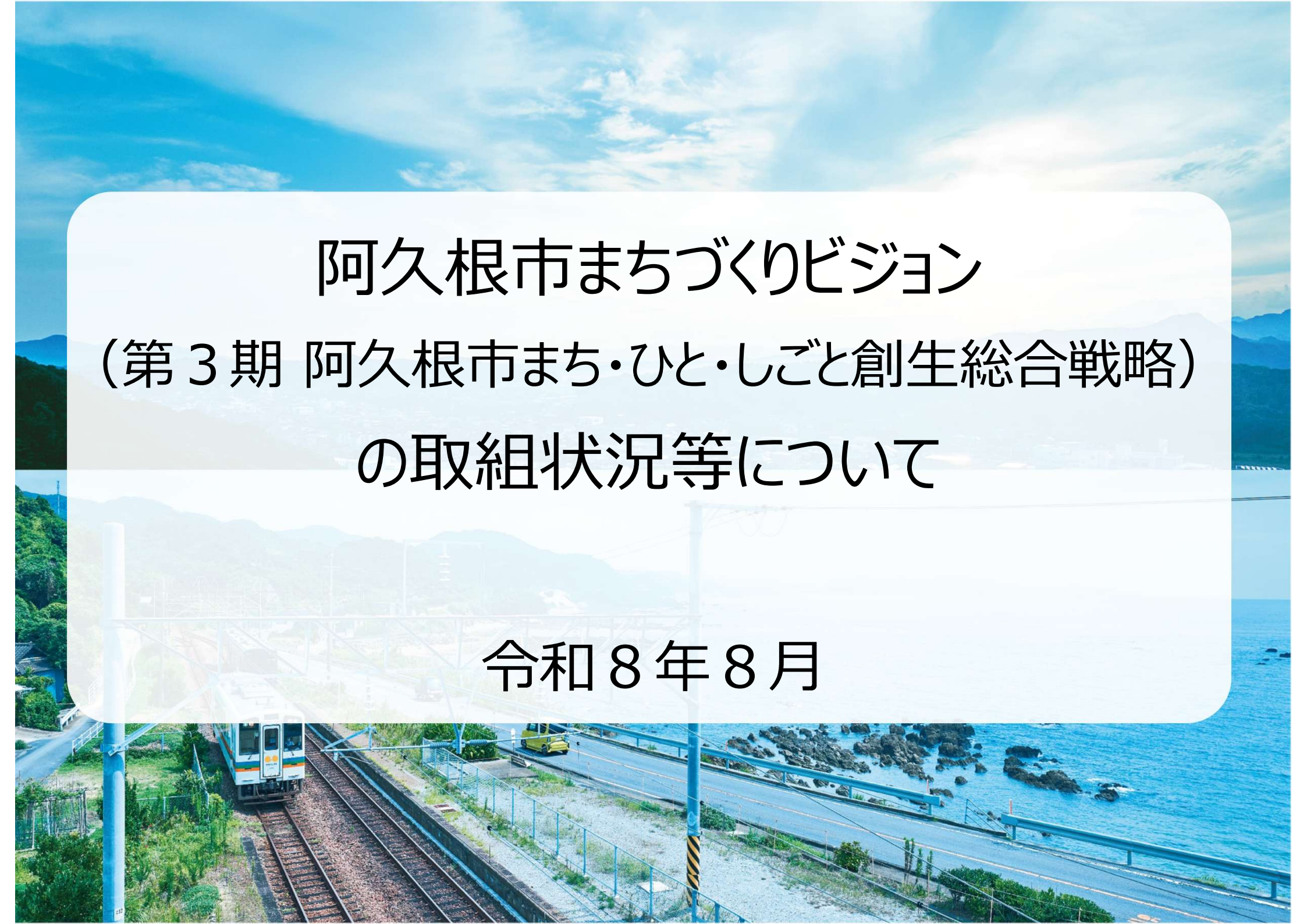


The background image shows a scenic coastal town. In the foreground, a white train with blue and orange accents is traveling on a track. To the right of the tracks is a blue road with a guardrail, and further right is a rocky coastline with blue water. The town and mountains are visible in the background under a blue sky with clouds.

阿久根市まちづくりビジョン (第3期 阿久根市まち・ひと・しごと創生総合戦略) の取組状況等について

令和8年8月

－ 目 次 －

1 国の総合戦略について	1
2 市の総合戦略について	2
3 人口ビジョン・総合戦略について	3
4 人口の状況（年度別推移）	4
5-1 人口動態の状況（自然増減）	5
5-2 人口動態の状況（社会増減）	6
6 KPIの達成状況と事業の主な取組	7
6-1～ 基本目標 1	10
阿久根に産業の成長をつくる。	
6-6～ 基本目標 2	20
阿久根に人の流れをつくる。	
6-9～ 基本目標 3	26
阿久根に家族の夢をつくる。	
6-13～ 基本目標 4	34
阿久根に健康生活、共同の輪をつくる。	
6-16～ 基本目標 5	40
阿久根に安全で快適な環境をつくる。	
6-19～ 基本目標 6	46
阿久根にデジタル生活基盤をつくる。	
7 総合戦略取組状況	50
8 総合戦略を推進するための新たな取組（令和 8 年度） ...	51

1 国の総合戦略について

デジタル田園都市国家構想総合戦略

【計画期間】

2023年度（令和5年度）から2027年度（令和9年度）まで

【取組方針】

- ① デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上
- ② デジタル生活基盤
- ③ デジタル人材の育成・確保
- ④ 誰一人取り残されないための取組

【国における取組】

- ・ 社会情勢が大きく変化する中、デジタルの力を活用した地方の社会解決に向けた取組を加速化・深化
- ・ 地方のデジタル実装を下支えするため、前提となる取組を推進
- ・ 東京圏への過度な一極集中の是正・多極化
- ・ 地域ビジョンの実現に向けた施策間連携・地域間連携の推進

2026年（令和8年）7月21日
閣議決定

地域未来戦略

【計画期間】

2026年度（令和8年度）から2030年度（令和12年度）まで

【政策目標・施策】

- ① 強い地域経済の構築
- ② 豊かな生活環境の実現
- ③ 選ばれる地方の実現

【国における取組】

- ・ 47都道府県のどこに住んでいても、安心して生活でき、必要な医療・福祉や質の高い教育を受けることができ、働く場所がある社会の実現を目指す。
- ・ 地方に大規模な投資を呼び込み、各地に産業クラスターを戦略的に形成し、地域の産業、地域経済の持続的な成長を図る。

2 市の総合戦略について

阿久根市まちづくりビジョン(第2期総合戦略)

【計画期間】

2020年度（令和2年度）から2024年度（令和6年度）まで

【基本目標】

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| ① 地域の資源を生かした「にぎわい」のあるまち | ④ 快適・安全で潤いとやすらぎのあるまち |
| ② 地域の魅力が広がる「つながり」のあるまち | ⑤ 豊かな心が育まれ文化の薫るまち |
| ③ 支え合い生き生きと暮らせる健やかなまち | ⑥ 協働・連携で明るい未来を開くまち |

【2060年目標人口】 10,800人

【市の将来像】 帰ってきたくなる 行ってみたくなる 東シナ海の宝のまち あくね

【基本理念】 「まちづくり」は「ひとづくり」から ～ふるさと阿久根を次の世代につなぐために～

誰一人取り残さない
持続可能なまちづくりに向けて

阿久根市まちづくりビジョン(第3期総合戦略)

【計画期間】

2025年度（令和7年度）から2029年度（令和11年度）まで

【基本目標】

- | | |
|------------------|----------------------|
| ① 阿久根に産業の成長をつくる。 | ④ 阿久根に健康生活、共同の輪をつくる。 |
| ② 阿久根に人の流れをつくる。 | ⑤ 阿久根に安全で快適な環境をつくる。 |
| ③ 阿久根に家族の夢をつくる。 | ⑥ 阿久根にデジタル生活基盤をつくる。 |

【2050年目標人口】 10,800人

【市の将来像】 帰ってきたくなる 行ってみたくなる 東シナ海の宝のまち あくね

【基本理念】 「まちづくり」は「ひとづくり」から ～ふるさと阿久根を次の世代につなぐために～

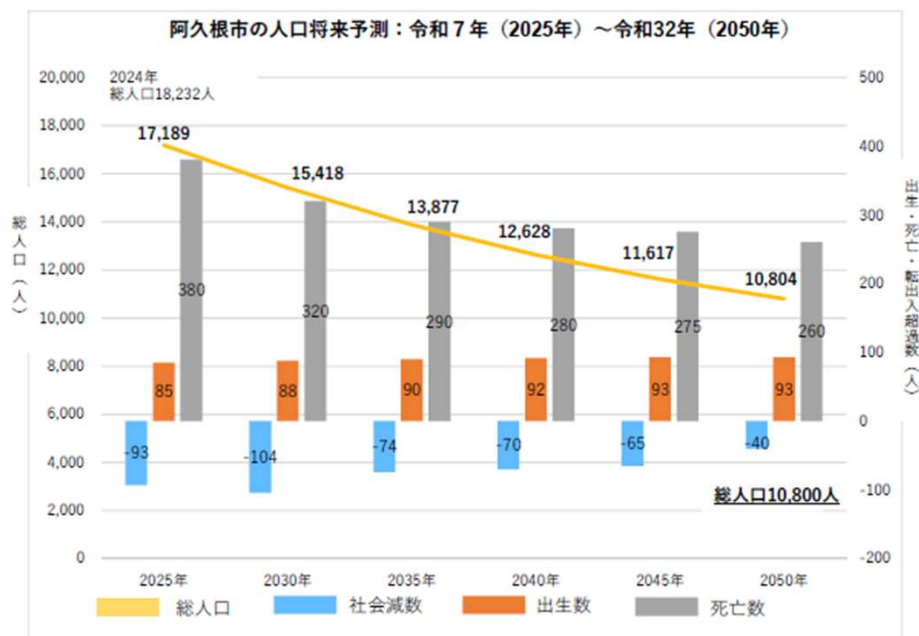
【ブランディング・コア・アイディア】 あなたの人生を、抱きしめるまち。

3 人口ビジョン・総合戦略について

人口ビジョン

【2050年（令和32年）目標人口】
10,800人

- ・自然増減
出生数を平均90人/年に増やし、自然減を平均211人/年に抑える。
- ・社会増減
社会減を平均74人に抑える。



この目標を達成するために

第3期総合戦略

6つの基本目標

18の基本政策

各種事業を展開

【基本目標・基本政策】

- ① 阿久根に産業の成長をつくる。
 - ・「産業」を守る
 - ・「産業」を創る
 - ・「食」を支える
 - ・「山」を守る
- ② 阿久根に人の流れをつくる。
 - ・観光の振興
 - ・交流の促進
 - ・移住・定住の推進
- ③ 阿久根に家族の夢をつくる。
 - ・出会い・結婚
 - ・妊娠・出産・子育て
 - ・将来を担う人材の育成
- ④ 阿久根に健康生活、共同の輪をつくる。
 - ・健康で長生きする
 - ・ともに支え合う
 - ・性別にとらわれない
- ⑤ 阿久根に安全で快適な環境をつくる。
 - ・次世代につなぐ
 - ・災害から守る
 - ・暮らしを守る
- ⑥ 阿久根にデジタル生活基盤をつくる。
 - ・市民サービスのD X化
 - ・庁内業務のD X化

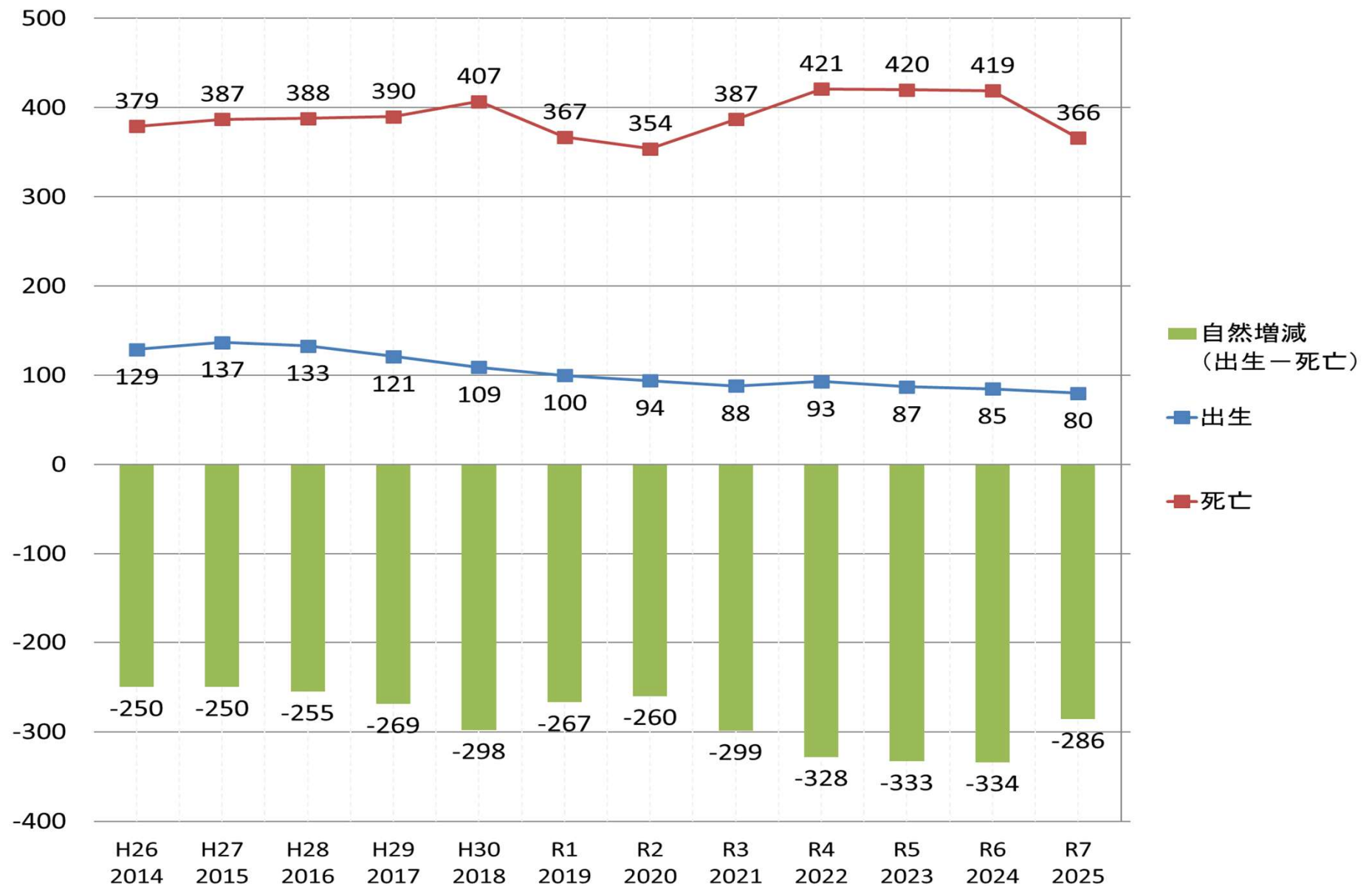
4 人口の状況（年度別推移）

年	社人研	目標 (人口ビジョン)	実績	実績－目標
R 1 (2019)	19,981	20,205	19,461	▲744
R 2 (2020)	19,256	19,257	19,270	13
R 3 (2021)	18,865	18,903	18,779	▲124
R 4 (2022)	18,474	18,550	18,352	▲198
R 5 (2023)	18,083	18,196	17,961	▲235
R 6 (2024)	17,692	17,843	17,584	▲259
R 7 (2025)	17,187	17,189	17,289	100
R 32 (2050)	9,559	10,800	－	－

※ 1 社人研、目標の値は、2020年及び2025年は目標値又は推計値であり、その他の年は2020年及び2025年のそれらの値からの按分（あんぶん）値である。

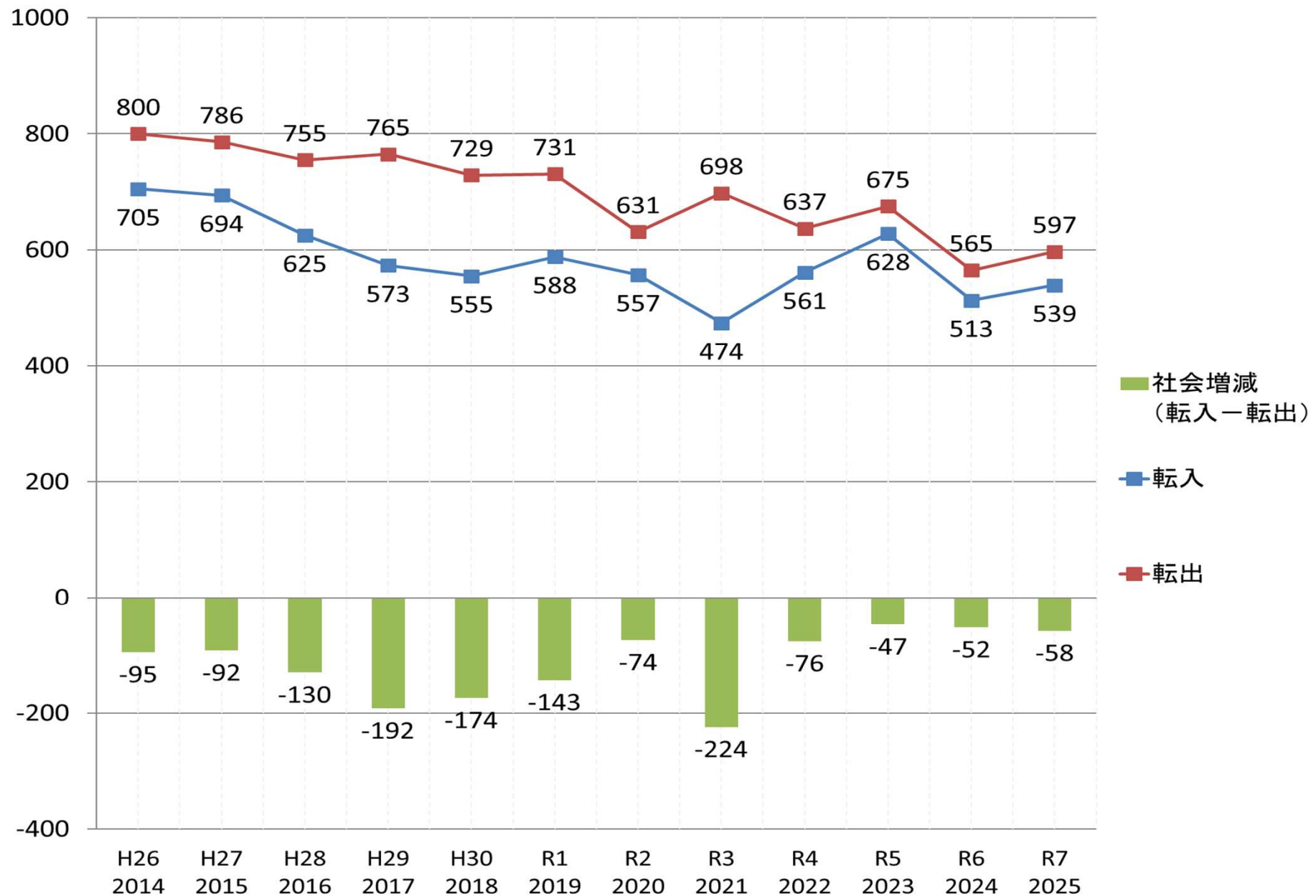
※ 2 実績値は、2020年及び2025年は国勢調査の値、その他の年は鹿児島県「毎月人口移動調査」の10月1日の値である。

5－1 人口動態の状況（自然増減）



- ・出生数は過去最低値、死亡数は減少となった。
- ・出生数－死亡数の自然増減は、依然としてマイナス幅が大きい。

5 - 2 人口動態の状況（社会増減）



- ・転入・転出数ともに、昨年から微増。
- ・転出が転入を上回る「転出超過（社会減）」の状況が続いている。

- まちづくりビジョンでは、基本政策ごとに K P I（重要業績評価指標）を定め、施策を推進することとしています。
- 評価に対する基準値は、特に記載のない限り、「令和 5 年度又は令和 6 年度末現在の値」とします。
- 評価の考え方は、以下の 3 つの区分のうちのいずれかを設定しています。
 - 「単年」… 毎年度一定の目標を設定
 - 「累計」… 期間内の累計目標値を設定
 - 「最終」… 最終年度の水準目標を設定
- そして、その達成度及び達成評価につきましては、次のとおりとします。
 - A … 目標以上（100%以上）
 - B … 予定どおり（90%以上100%未満）
 - C … 概ね予定どおり（80%以上90%未満）
 - D … 改善・見直し必要（80%未満）
- 以下に、目標達成状況の例を示します。

●例 1 「単年」の場合

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価
有害鳥獣捕獲頭数	単年	2,000頭	2,518頭	2,400頭	2,400頭	A

→ 単年目標 2,400頭 に対し、
 R7実績 2,518頭 であるため、
 $2,518\text{頭} \div 2,400\text{頭} \approx 104.9\%$ となり、評価は「A（100%以上）」となります。

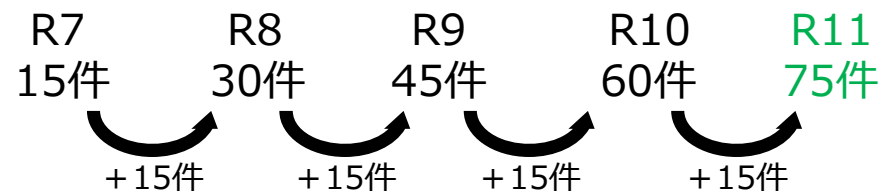
●例2 「累計」の場合

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価
危険空き家の解体件数	累計	75件	15件 (+15)	15件	75件	A

↑ () の増加数がR7の実績値

→ 令和7年度から令和11年度までの単年度目標を段階的に上げていき、最終目標（75件）を目指す。
目標値を5か年で割って算出された値を、年度ごとの上げ幅とします。

75件÷5年 = 15件…年度ごとに上げていく目標の上げ幅



よって、この場合、

R7の累計実績 15件 に対し、

R7の累計目標 15件 であるため、

15件÷15件 = 100.0% となり、評価は「A（100%以上）」となります。

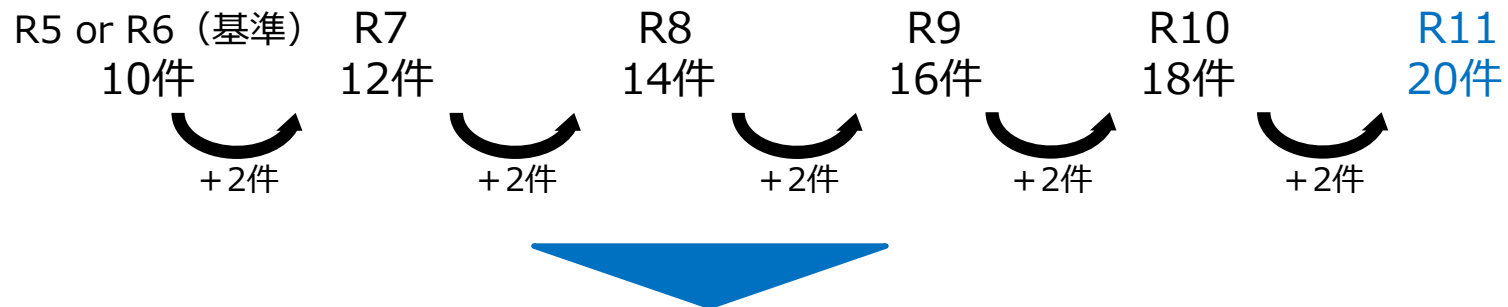
●例3 「最終」の場合

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価
縁結びサポート事業の 利用者	最終	10件	12件	12件	20件	A

→ 令和7年度から令和11年度までの単年度目標を段階的に上げ、最終目標（20件）を目指す。
目標値から基準値を差し引き、5か年で割って算出された値を年度ごとの上げ幅とします。

$$20\text{件} - 10\text{件} = 10\text{件}$$

$$10\text{件} \div 5\text{年} = 2\text{件} \cdots \text{年度ごとに上げていく目標の上げ幅}$$



よって、この場合、

R7実績 12件 に対し、

R7目標 12件 であるため、

$12\text{件} \div 12\text{件} = 100.0\%$ となり、評価は「A（100%以上）」となります。

6 - 1 K P I の達成状況と事業の主な取組

※ K P I …重要業績評価指標

(基本目標1 阿久根に産業の成長をつくる。)

(1) 「産業」を守る 市内事業者の積極的な事業展開への支援

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
市内総生産額の増加率 (第2次及び第3次産業)	単年	対前年比 増加率 (県平均) +6.0% (市平均) +2.7%	対前年比 増加率 (県平均) +1.1% (市平均) +6.2%	対前年比 増加率 県平均値 以上	対前年比 増加率 県平均値 以上	A	・商工業者事業拡大・拡充支援事業補助金 ・副業促進及び生産性向上による産業活性化事業
従業員一人当たりの 付加価値額 (第2次及び第3次産業)	最終	(県平均) 8.48百万円 (市平均) 7.28百万円	(県平均) 8.58百万円 (市平均) 7.73百万円	県平均値 と同水準	県平均値 と同水準	B	・創業支援事業 ・よろず支援拠点と連携した創業・経営者への相談 所設置

指標	今後の方向性
市内総生産額の増加率 (第2次及び第3次産業)	人口減少による人手不足が大きな課題となる中で、市内事業者が事業を維持・継続していくためには、商品開発や生産性の向上による商工業者の事業拡大・拡充が必要不可欠であることから、引き続き支援を行う。 多くの地域で人材確保競争は激化しており、地方において新たな人材を呼び込むことは容易ではない。本市においても同様であり、外部人材の確保に依存するだけでは、持続的な労働力の確保は困難である。こうした現実を踏まえると、まずは域内に存在する人材や知見を最大限活用し、地域の中で支え合いながら労働力を循環させる仕組みを構築することが重要となる。
従業員一人当たりの 付加価値額 (第2次及び第3次産業)	例年どおり、多くの個人事業者が創業し、来年度以降も一定の創業が見込まれる。また、本事業と並行して、鹿児島県よろず支援拠点との合同による経営無料相談会を定期的に行っている。これまで創業された事業者及びこれから創業を検討している方に向けたビジネススクール等の検討も行い、創業後の伴走支援体制も引き続き維持していく。

市内事業者の積極的な事業展開への支援①

【事業名】
創業支援事業

【事業内容】
創業の促進と産業の活性化を図るため、国の認定を受けた創業支援事業計画に基づき市内で新たに創業する個人・法人に対し、創業に要する経費の一部を補助するとともに、創業支援セミナーの開催費用の一部を補助する。

【事業費】
20,764千円（令和7年度）



市内事業者の積極的な事業展開への支援②

【事業名】
副業促進及び生産性向上による産業活性化事業

【事業内容】
人口減少による人材確保が喫緊の課題とされる中、地域の課題を共有する市内金融機関等と連携し、空き時間や休日を活用した「短時間労働」や「副業」等を促進することにより、市内の労働力の掘り起こしを行い、地元企業へ供給することで労働力不足の軽減を図り、あわせて、「生産性向上」や「DX推進による省力化」等の啓発、人材育成を支援することで、企業経営の強化による事業の維持・拡大に向けた取組を促進する。

【事業費】
16,000千円（令和7年度）



6 - 2 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標1 阿久根に産業の成長をつくる。)

(2) 「産業」を創る 新たな企業の誘致

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
企業立地促進補助金の活用件数	最終	1件	1件	1件	5件	A	企業立地促進補助

指標	今後の方向性
企業立地促進補助金の活用件数	補助制度の拡充を図り、用地の取得や整備に係る費用、新規雇用者一人当たりに対する奨励金などの補助率を引上げ、県内でも上位の水準になるよう設定したところであり、引き続き、企業誘致に努めていく。

新たな企業の誘致

【事業名】
企業立地促進補助

【事業内容】
本市における企業立地の促進に資するため、工場等を新設、増設若しくは移設する者又は土地若しくは工場等を貸借しソフト産業を営む者に対し、企業立地促進補助金の交付措置を行い、もって市経済の発展及び雇用機会の拡大を図ることを目的とする。

【事業費】
14,000千円（令和7年度）

株式会社島水



6 - 3 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標1 阿久根に産業の成長をつくる。)

(3) 「食」を支える ① 水産業の活性化、スマート化

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
増殖礁の整備	累計	5か所	1か所 (+1)	2か所	10か所	D	
漁場予測システムを搭載した船	最終	2隻	0隻	2.4隻	4隻	D	
新規漁業者数	最終	1人	0人	1.4人	3人	D	
水産物水揚げ量	最終	14,453t	13,150t	14,762t	16,000t	C	

指標	今後の方向性
増殖礁の整備	アオナマコ資源の増殖を図るため、令和7年度に北さつま漁協青壮年部が阿久根新港内にナマコ増殖礁を1か所設置した。令和8年度においては、佐潟漁港内にも設置する予定である。
漁場予測システムを搭載した船	令和5年に本市の棒受網漁船2隻が漁場予測システムを導入したが、その後の追加導入はなされていない。現在、本市沖合のイワシ漁が好調であり、システムに頼らずとも満船となる水揚げが確保できていることから、今後の普及・展開については不透明である。
新規漁業者数	令和7年度においては、本市の交付金を活用した新規漁業者はいなかった。一方、交付金要件を満たさない(対象外の)新規漁業者は4名であった。令和8年度から交付金の要件を緩和し、対象年齢を40歳未満から60歳以下へ引き上げたことから、今後は新規漁業者の増加が期待される。
水産物水揚げ量	令和7年度はフィッシュポンプ導入もあり順調に推移したものの、年明けの荒天による出漁減に加え、高魚価のサバ漁場が遠方(種子島周辺)に形成され本市への水揚げが減少した影響により、目標未達成となった。この課題に対応するため、今後はフィッシュポンプの追加導入、ならびに製氷・給氷体制および急速冷凍施設の整備を推進し、水揚げの増加を図る。

水産業の活性化、スマート化①

【事業名】

漁業操業効率化推進事業

【事業内容】

漁業経営の体質強化及び沿岸自営漁業者等の所得向上を進めるため、省エネルギー・省コストにつながる機器の導入や、操業コスト削減に向けたエンジンのオーバーホール費用を支援し、水産業の振興を図る。

【事業費】

4,701千円（令和7年度）



水産業の活性化、スマート化②

【事業名】

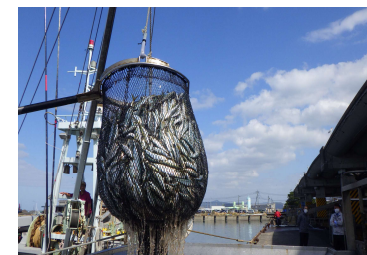
水産物流通対策事業

【事業内容】

外来船（県外の大中型旋網船）の水揚げ増加は、水揚量の底上げや魚種の多様化など本市水産業の活性化に大きく寄与することから、外来船の入港を促すべく氷代を助成している北さつま漁業協同組合に対し、市がその助成額の2分の1を補助するもの。

【事業費】

3,000千円（令和7年度）



6 - 4 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標1 阿久根に産業の成長をつくる。)

(3) 「食」を支える ② 農業・畜産業の活性化、スマート化

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
新規就農者数	単年	4人	3人	4人	4人	D	・新規就農者育成総合対策事業 ・壮年世代新規就農者支援事業
スマート農業導入経営体数	最終	1経営体	2経営体	2経営体	10経営体	A	農業用資材等購入支援事業
農業生産額	単年	70.0億円	85.8億円	72.0億円	72.0億円	A	・ジャンボタニシ駆除対策事業 ・果樹苗木購入補助 ・連作障害等対策 ・農作物鳥獣害防止施設整備事業

指標	今後の方向性
新規就農者数	今後も国・県等の支援事業の制度周知や市独自の支援事業の検討・実施を行い、新規就農者に対して経営の安定が図られるよう、農業専門指導員による巡回指導や関係機関と連携し支援していく。
スマート農業 導入経営体数	高齢化や人口減少を背景に、農業者の担い手不足や労働力不足があり、限りある労働力の中で、農作業の効率化、省力化は地域農業を維持・発展させるためには重要な取組事項の1つである。国・県等もスマート農業については積極的な推進を行っていることから、市としても国・県等の支援事業の制度周知や市独自の支援事業の検討・実施を行い、積極的な新技術の導入を行う農業者を支援していく。
農業生産額	肥料や農薬、飼料価格の高騰により、依然として農業経営は厳しい状況にあるが、紅甘夏、大将季などの柑橘類、実えんどう、そらまめなどの豆類をはじめとした各種作物、養鶏や肉用牛などの畜産業に対し、引き続き稼ぐ力の向上に向けて支援していく。

農業・畜産業の活性化、スマート化①

【事業名】

農業用資材等購入支援事業

【事業内容】

農作業の省力化や生産性の向上、経営面積の拡大等に取り組む際に必要となる農業用機械・スマート機械等の購入に要する経費の一部を助成することにより、農業経営の安定化を図る。

【事業費】

3,193千円（令和7年度）



農業・畜産業の活性化、スマート化②

【事業名】

農作物鳥獣害防止施設整備事業

【事業内容】

鳥獣被害防止のための防護柵及び防鳥網の設置に要する経費の一部を助成することにより、農作物への被害を防止し、農業者の営農意欲の低下軽減を図る。

【事業費】

3,829千円（令和7年度）



6 - 5 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標1 阿久根に産業の成長をつくる。)

(4) 「山」を守る 林業の活性化

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
森林の整備面積	最終	10ha	7.89ha	18ha	50ha	D	森林環境譲与税事業
林業の新規就業者	最終	1人	2人	1.4人	3人	A	森林環境譲与税事業
有害鳥獣捕獲頭数	単年	2,000頭	2,518頭	2,400頭	2,400頭	A	有害鳥獣捕獲事業

指標	今後の方向性
森林の整備面積	森林経営管理制度における森林経営管理権集積計画において、森林所有者に対して所有する森林の経営意向を聞き取るなどして、適切に森林整備を促していく。
林業の新規就業者	森林環境譲与税を活用しながら、林業に関する普及啓発活動を行い、新規就業につながるような支援を検討していく。
有害鳥獣捕獲頭数	有害鳥獣による農林産物の被害軽減や人身への危害防止を図るため、猟友会と連携し、イノシシやシカ等の有害鳥獣の捕獲を推進していく。

林業の活性化①

【事業名】

森林環境譲与税事業

【事業内容】

間伐や不用木の整理といった森林整備や、再造林の支援、林道・作業道の整備、新規就業者の確保・育成、木育の推進などの各種取組を行い、森林を適切に管理し、林業の振興や災害防止、木材の利活用推進等を図る。

【事業費】

18,359千円（令和7年度）



林業の活性化②

【事業名】

有害鳥獣捕獲事業（捕獲対策謝金）

【事業内容】

猟友会と連携し、イノシシやシカ等の有害鳥獣を捕獲し、農林産物や人身被害の防止を図る。

【事業費】

15,710千円（令和7年度）



6 - 6 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標2 阿久根に人の流れをつくる。)

(1) 観光の振興 地域資源を魅力に変え、人を呼び込む

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
阿久根大島来島者数	単年	5,800人	5,250人	10,000人	10,000人	D	・阿久根大島公園指定管理業務委託 ・阿久根大島行渡船費等補助
番所丘公園キャンプ場 利用者数	単年	—	1,179人	3,000人	3,000人	D	公園管理事業(番所丘公園管理運営事業)
体験型観光コンテンツ 売上額	最終	12,500千円	15,516千円	15,000千円	25,000千円 以上	A	・体験型観光コンテンツ開発等事業補助 ・地域おこし協力隊活用事業

指標	今後の方向性
阿久根大島来島者数	7～8月の海水浴期間以外におけるイベント開催や渡船料補助により、当該期間の来島者数は増加したが、酷暑による屋外レジャーの敬遠や天候不良によるフェリーの欠航などを一因として、海水浴期間における来島者数は減少し、年間の来島者数としては昨年よりも減少したところである。指定管理者と連携し、阿久根大島の魅力の情報発信に努めるとともに、解体を含めた島内施設の整備等の検討を進めていく。
番所丘公園キャンプ場 利用者数	市内外から多くの方に利用していただけるよう、番所丘公園を運営する指定管理者と連携し、施設の広報・PRを十分に行い、来園者の増加、交流人口の増加につなげていく。
体験型観光コンテンツ 売上額	体験型観光を目的に本市を訪れる方は増加傾向にあり、それに比例して売上額も増加している。今後も引き続き、体験型観光コンテンツ開発等事業補助を継続しながら、体験型観光コンテンツの開発と情報発信に努め、更なる体験型観光の推進に取り組む。

地域資源を魅力に変え、人を呼び込む①

【事業名】

アートを活用した観光交流促進事業
(阿久根うみまち芸術祭)

【事業内容】

アートを切り口に本市の魅力等を広くPRするため、市内外のアーティストを招へいし、本市の「自然」や「人材の魅力」を活かした芸術祭を開催する。

【事業費】

3,000千円（令和7年度）



地域資源を魅力に変え、人を呼び込む②

【事業名】

体験型観光コンテンツ開発等事業補助

【事業内容】

地域の資源を活用した観光振興を図るため、体験型観光コンテンツの開発及び改良に関する事業に取り組む者に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。

【事業費】

562千円（令和7年度）



地域資源を魅力に変え、人を呼び込む③

【事業名】

阿久根大島行渡船費等補助

【事業内容】

阿久根大島への来訪者の増加を促進し、阿久根大島の周年観光の実現を図るため、市内において阿久根大島への一般旅客定期航路事業を営む者に対し、予算の範囲内において補助金（渡船運賃補助・燃料費補助）を交付する。

【事業費】

1,446千円（令和7年度）



地域資源を魅力に変え、人を呼び込む④

【事業名】

公園管理事業（番所丘公園管理運営事業）

【事業内容】

市民の休憩、散策、遊戯、運動、キャンプ等の多様なレクリエーションニーズに応えるとともに、公園内施設の効果的かつ効率的な管理・運営を行う。

【事業費】

19,500千円（令和7年度）



6 - 7 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標2 阿久根に人の流れをつくる。)

(2) 交流の促進

① 地域資源を生かしたにぎわいの創出、市民文化の創造
② 「華の50歳組」の開催 ③ ふるさと納税の推進

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
スポーツイベント参加者数	単年	1,698人	1,986人	1,782人	1,782人	A	スポーツイベント実施事業 (あくねボンタンロードレース大会等)
スポーツ合宿延べ宿泊者数	単年	1,081人	1,310人	1,135人	1,135人	A	合宿等誘致推進事業
「華の50歳組」運動会参加率	単年	56.6%	56.3%	60.0%	60.0%	B	「華の50歳組」レセプション
ふるさと納税寄附額	最終	578,534 千円	638,805 千円	662,827 千円	1,000,000 千円	B	ふるさと納税推進事業

指標	今後の方向性
スポーツイベント 参加者数	ボンタンロードレース大会は、新たに主要駅での広告、ネット上でのランナー関係ホームページ等への掲載もあり、前年度と比較し参加者が273人の増となった。また、高校駅伝では、新たにオープン参加枠を設け男子20校・女子15校が出場し、競技レベルの高い大会となった。両大会とも、引き続き、参加者の意見を参考に更なる改善を図り、参加者増につなげていきたい。
スポーツ合宿 延べ宿泊者数	前年度は、立教大学野球部をはじめ5団体が本市で合宿を実施したことにより、宿泊施設や周辺店舗などの地域活性化に寄与することができた。次年度以降も、引き続き、総合運動公園施設を適宜修繕・改修し、利用環境の向上を図るとともに、本市で合宿を実施する団体が継続的に合宿に訪れていただけるよう、良好な関係構築を図っていきたい。
「華の50歳組」運動会 参加率	全国に誇る伝統行事として大切に受け継いでいくため、引き続き、運動会前日にレセプションを開催するなど支援するとともに、子ども達への生きた教育の場としての活用を図り、より効果的な情報発信に努める。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により実施が見送られていた令和3年度対象者のレセプションについても、各小学校の実行委員の協力を得ながら、令和8年8月に実施することとしている。
ふるさと納税寄附額	返礼品の拡充やポータルサイト運営に加え、地場産品基準への適合性の確保、事業者との連携強化及び制度改正に対応した返礼品の磨き上げを進めるとともに、阿久根市ならではの地域資源を生かした返礼品の開発や寄附金の用途を含めた効果的な情報発信を推進し、制度の趣旨に沿った持続可能な寄附獲得体制の構築を図る。

地域資源を生かしたにぎわいの創出、市民文化の創造①

【事業名】
合宿等誘致推進事業

【事業内容】
本市にスポーツ合宿を誘致することにより、施設の有効活用を図るとともに、地域経済の活性化及びスポーツ振興を図る。

【事業費】
684千円（令和7年度）



地域資源を生かしたにぎわいの創出、市民文化の創造②

【事業名】
自主文化事業

【事業内容】
・ロビーコンサート
・風テラスあくねシネマパラダイス
・FAZIOLIピアノ試弾会
・絵本作家によるワークショップ及び講演会
・演歌歌謡コンサート
・風テラスあくね吹奏フェスティバル ほか

【事業費】
13,784千円（令和7年度）



「華の50歳組」の開催

【事業名】
「華の50歳組」レセプション

【事業内容】
華の50歳組の参加者同士が交流する場を提供するため歓迎レセプションを主催し、一層の参加促進を図ることにより、伝統行事の継承を支援する。

【事業費】
1,233千円（令和7年度）

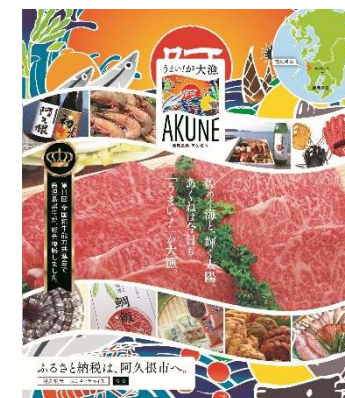


ふるさと納税の推進

【事業名】
ふるさと納税推進事業

【事業内容】
ふるさと納税寄附者に特産品等を返礼品として贈呈し、阿久根ブランドのPR、阿久根ファンの創出、リピーターの確保を図るとともに、特産品等の販路拡大に資することで、市内産業の活性化に寄与することを目的とし、ふるさと納税を推進する。

【事業費】
360,193千円（令和7年度）



6 - 8 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標2 阿久根に人の流れをつくる。)

(3) 移住・定住の推進

- ① 受入体制の強化
② 住まいの情報提供

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
移住関連イベント 出展回数	単年	1件	5件	2件	2件	A	
アクネファン創出事業参加者のうち、 阿久根市に移住した方	最終	0人	0人	0.8人	4人	D	アクネファン創出事業
空き家バンク成約件数	単年	7件	18件	10件	10件	A	・空き家バンク事業 ・空き家バンク利用促進補助

指標	今後の方向性
移住関連イベント 出展回数	県等が都市部で行う移住関連イベントに積極的に出展し、本市の認知度向上及び本市に関心を持っていただき、移住へつながるように努めていく。
アクネファン創出事業参加者のうち、 阿久根市に移住した方	移住に結び付けるためには、生活環境の変化、人間関係、移住費用、仕事、家族等様々なハードルを乗り越える必要がある。都市部のスキルある若者を中心に阿久根に訪れる機会を作り、阿久根のまち・ひと・しごとの魅力に触れ、阿久根を好きになり、阿久根ファンを創出し、起業・移住・雇用・情報発信・企業課題解決、継続的な関係人口の創出につなげたい。各種イベントとも連携して、阿久根の魅力発信に取り組む。
空き家バンク成約件数	空き家バンクの制度が全国的に浸透しており、主に都市部に居住する所有者からの問い合わせが増加傾向にある。引き続き、市内の不動産業者と連携し、相談体制を強化するとともに、空き家所有者へのアプローチを行い、空き家バンクを充実させるとともに、成約件数を増やし、空き家の利活用促進に努めていく。

受入体制の強化

【事業名】
アクネファン創出事業

【事業内容】

継続的な関係人口の創出を図るとともに、本市への移住や市内事業者における人材確保に資するため、都市部に住む若い世代の方々に、阿久根の食や自然、市内事業者の魅力などを体感していただく「阿久根体験プログラム」を提供するものである。

【事業費】
1,596千円（令和7年度）



住まいの情報提供

【事業名】
空き家バンク事業

【事業内容】

空き家の利活用及び移住定住の促進を図ることを目的として、売却・賃貸希望の物件情報を市ホームページ等に掲載し、購入・貸借希望者を募る制度

【事業費】
0千円（令和7年度）



6 - 9 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標3 阿久根に家族の夢をつくる。)

(1) 出会い・結婚 出会いの場の提供と結婚支援

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
縁結びサポート事業の利用者数	最終	10人	12人	12人	20人	A	縁結びサポート事業

指標	今後の方向性
縁結びサポート事業の利用者数	引き続き、利用者数を増やすために縁結びサポーターや市内の企業等との連携を強化し、潜在的な利用者のニーズを把握する。また、気軽に登録してもらうための事業周知や事業内容の見直しを行い、多くの市民に出会いの場を提供する。

出合いの場の提供と結婚支援①

【事業名】

縁結びサポート事業

【事業内容】

結婚を希望する方々の出合いのお手伝いをするもので、結婚に関する相談やイベント情報の提供など、縁結びサポーターと連携して取り組む。

【事業費】

413千円（令和7年度）



出合いの場の提供と結婚支援②

【事業名】

おれんじで出愛サポート列車の旅事業

【事業内容】

北薩地域4市町（阿久根市、出水市、薩摩川内市、さつま町）において、それぞれの特徴を生かした婚活イベントを開催することにより、出合いの場やきっかけづくりの機会を提供し、成婚に結び付くためのカップル誕生を目指すもの。

【事業費】

450千円（令和7年度）



6 - 1 0 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標 3 阿久根に家族の夢をつくる。)

(2) 妊娠・出産・子育て

- ① 切れ目のない支援の充実
- ② スポーツを通した子どもの成長支援

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
出生児数	単年	85人	80人	90人	90人	C	・出生祝い商品券支給事業 ・子ども医療費給付事業
子育て支援コンシェルジュの 満足度	単年	79.0%	98.6%	90.0%	90.0%	A	・子育てコンシェルジュ事業 ・SNSによる子育てに関する効果的な情報発信
総合運動公園利用者数	単年	117,898人	102,812人	119,076人	119,076人	B	総合運動公園維持修繕事業

指標	今後の方向性
出生児数	子育てに係る経済的な負担軽減のため、阿久根商工会議所が発行する共通商品券を活用し、出生児一人当たり10万円分の出生祝い商品券の支給や子どもの医療費に係る給付事業、保育料の無償化を実施している。引き続き保護者のニーズを捉えながら、安心して子どもを産み育てることができるよう切れ目のない支援を実施していく。
子育て支援コンシェルジュの 満足度	アンケートの回答結果では、保護者の満足度が前年度の98%から98.6%に向上した。アンケートに寄せられた保護者の声を基に事業改善を図りながら、引き続き高い満足度を維持できるように努めたい。また、インスタグラムによる情報提供を行っており、フォロワー数300人を目標に取組を進めていく。
総合運動公園利用者数	令和7年度のスポーツ施設利用者数は、前年度比90.0%であり、目標値には至っていない。多目的雨天屋内運動場及び野球場において改修工事を実施し、その間に施設利用が出来なかったことが主な要因である。一方、改修工事を行った庭球場は利用環境が改善されたことから、利用者が前年度比129.7%増であった。引き続き、計画的に施設改修及び環境整備を行い、利用者増を図っていききたい。

切れ目のない支援の充実①

【事業名】
子育て支援コンシェルジュ事業

【事業内容】
妊娠中から小学校入学前まで担当保健師や助産師による母子のケアやサポートを通して、母子の健全な育成と継続した見守りを実施する。
(妊産婦訪問・相談、新生児・乳幼児訪問・各種相談業務など)

【事業費】
171千円（令和7年度）



切れ目のない支援の充実②

【事業名】
屋内の遊べる場づくり事業

【事業内容】
子どもと保護者が、暑い日や雨の日でも安心して遊べる場として、大川地区公民館内に屋内遊戯施設を設置するものであり、子どもの心身の健全な育成を促す遊び場を提供することにより、児童福祉の向上を図るものである。

【事業費】
5,236千円（令和7年度）



切れ目のない支援の充実③

【事業名】
子ども医療費給付事業

【事業内容】
子育て世帯の経済的負担の軽減を図るとともに、疾病の早期発見及び早期治療を促進し、子どもの健康の維持・増進と健全な育成に資することを目的として、県内の医療機関などにおける窓口負担を無償とする。
令和7年度から、課税状況に関わらず「18歳までの全ての子ども」へ対象を拡充した。

【事業費】
70,194千円（令和7年度）



スポーツを通した子どもの成長支援

【事業名】
総合運動公園維持修繕事業

【事業内容】
総合運動公園施設は建設から30年以上経過しているため、施設に不具合が生じていることから、計画的に施設の修繕及び改修工事を実施し、利用者の利便性及び安全性の向上を図る。

【事業費】
35,870千円（令和7年度）



6-11 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標3 阿久根に家族の夢をつくる。)

(3) 将来を担う人材の育成① ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～ ④子どもの良好な教育環境の構築

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
全国学力・学習状況調査(質問紙)	単年	前年度 市平均値	+3.2%	+1.1%	+1.1%	A	
支援スタッフの配置人数	単年	23人	25人	26人	26人	B	
スクールソーシャルワーカーと 学校の連携回数	単年	30回	43回	50回	50回	C	
ICT研修会等の実施件数	単年	2回	3回	4回	4回	D	
スクールガードリーダーによる 見守り活動の回数	単年	20回/人	26回/人	25回/人	25回/人	A	

指標	今後の方向性
全国学力・学習状況調査(質問紙)	本市における共通実践事項について実態把握を行い、管理職研修会や市小・中・高学力向上研修会等で周知するとともに、教職員の同僚性を向上させ、授業改善に向けて意欲的に取り組む学校づくりを進めていく。
支援スタッフの配置人数	全ての児童生徒の学びの保障と個別最適な学びが確保できるよう、共生社会の実現に向けて、配置校の実態に応じた各支援員の配置や、対象児童生徒の実態に応じた支援について研修と修養に努めていく。
スクールソーシャルワーカーと 学校の連携回数	不登校や発達障害等に関する課題について、児童生徒やその家庭の状況を把握して、学校へのサポート、ケース会議への参加や学校・関係機関との連携を図り、安全・安心な学校づくりにつなげていく。
ICT研修会等の実施件数	ICT環境の変化や教員のニーズに合わせて、実践的・体験的なICT活用研修会を行い、素早い対応及び実態に応じた適切な指導・支援を行うことで、教職員の業務改善及び次世代型ICT活用を進めていく。
スクールガードリーダーによる 見守り活動の回数	より専門的な視点から、効果的・継続的な子供の安全確保に向けた体制を整備するとともに、児童生徒の「自分の命は自分で守る」という意識を高めるために、今後も安全教育を更に進めていく。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

【事業名】
学力向上推進事業

【事業内容】
学習意欲、学習方法等の状況について実態把握・分析し、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。また、年間を通して様々な取組を行い、主体的・対話的で深い学びの授業を実現する。

【事業費】
2,161千円（令和7年度）



Society 5.0に向けた人材育成

【事業名】
ICT研修会・支援員配置事業

【事業内容】
市内小・中学校に整備したICT機器を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的に充実した情報活用能力の育成及び校務の情報化のため、ICT支援員を派遣し、教職員へ技術・運用面での支援及び研修会等を実施する。

【事業費】
8,689千円（令和7年度）



キャリア教育を軸とした安全・安心で魅力ある学校・地域づくり

【事業名】
あくねよかとこ事業

【事業内容】
キャリアに関する講話や体験学習、スコラ手帳の活用等を通して、次世代を担う児童生徒の社会的、職業的自立の基盤となる能力や態度を育てるためのキャリア教育の推進を図る。

【事業費】
1,028千円（令和7年度）



子どもの良好な教育環境の構築

【事業名】
学校規模適正化事業

【事業内容】
児童生徒数の減少により、学校の小規模化が進行するとともに、教育環境が大きく変化している状況を踏まえ、児童生徒に等しく良好な教育環境を提供することをめざし、学校規模の適正化を促進する。

【事業費】
36千円（令和7年度）



6 - 1 2 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標3 阿久根に家族の夢をつくる。)

(3) 将来を担う人材の育成② ⑤ 鶴翔高校との連携

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
市内中学生の 鶴翔高校進学率	単年	20.6%	27.4%	25.0%	25.0%	A	
鶴翔高校卒業生の 地元企業就職率	最終	12.0%	9.2%	13.0%	17.0%	D	・鶴翔高校「3年A組の®」商品支援事業 ・市内企業合同説明会 ・地元人材雇用支援奨励金

指標	今後の方向性
市内中学生の 鶴翔高校進学率	令和7年度市内中学校卒業生146人のうち40人の生徒が鶴翔高校に進学した。引き続き同校と連携しながら、魅力・特色のある学校活動を広くPRし、生徒数の確保、市内中学生の進学率を向上を図る。
鶴翔高校卒業生の 地元企業就職率	鶴翔高校へのヒアリングでは、地元での就職意向は高い傾向にある。引き続き、鶴翔高校「3年A組の®」シリーズの事業補助等を行い、本市の特産品に密接に関わる機会を創出し、地場産業を担う人材の育成を図る。また、鶴翔高校での市内企業魅力説明会の開催を継続し、地元企業への就職者の増加を図る。

鶴翔高校との連携

【事業名】

鶴翔高校「3年A組の㊦」商品支援事業

【事業内容】

阿久根ブランドの創造と地場産業を担う人材育成につなげることを目的として、鶴翔高校が地域に密着した地元食材を用いて行う「3年A組の㊦」商品支援を行う。

【事業費】

711千円（令和7年度）



6-13 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標4 阿久根に健康生活、共同の輪をつくる。)

(1) 健康で長生きする ① 健康であり続ける ② 高齢者等の見守り
③ 外出機会の創出

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
特定健康診査の受診率	最終	50.7%	64.7%	52.5%	60.0%	A	・特定健康診査等事業 ・国保ヘルスアップ事業
各種がん検診の受診者数	単年	9,257人	9,092人	10,000人	10,000人	B	・がん対策事業 ・がん患者アピアランスケア助成金交付事業
認知症サポーターの養成人数	単年	130人	162人	180人	180人	B	認知症サポーター養成講座
認知症見守りネットワークの 対象者登録人数	単年	1人	2人	5人	5人	D	あくね認知症見守りネットワーク事業
高齢者等福祉タクシー利用率	単年	45.0%	43.0%	70.0%	70.0%	D	高齢者等福祉タクシー利用助成事業

指標	今後の方向性
特定健康診査の受診率	積極的に訪問指導を行い、新規国保加入者へは受診を、通院中の方へは情報提供を促したことで、前年度(57.7%:法定報告)より7.0ポイント上昇した。引き続き訪問指導に力を入れ、重症化予防、医療費の抑制につなげる。
各種がん検診の受診者数	令和6年度がん検診受診により、12人の方ががんに罹患(うち早期がん:4人)していることが判明したことから、対象者へ早期治療を促すことができた。引き続き市民ニーズを捉えながら、受診しやすい体制づくりに努める。
認知症サポーターの養成人数	人格形成の重要な時期にある児童生徒を対象とした養成講座を継続するとともに、民生委員・児童委員を対象とした養成講座、ステップアップ講座を開催する。
認知症見守りネットワークの 対象者登録人数	「あくね認知症見守りネットワーク」の登録者は、令和7年度末で3人となっている。万が一の早期発見とスピーディーな連携体制を強化するため、今後は対象者や協力機関の登録を呼びかける普及啓発活動をさらに推進していく。
高齢者等福祉タクシー利用率	令和7年7月からタクシー利用券を1枚あたり100円の増額を行った。今後も運転免許を有していない高齢者の外出機会の創出と自立した生活を推進するため、事業の利用推進を図っていくとともに制度の見直しについても検討していく。

健康であり続ける①

【事業名】

特定健康診査等事業

【事業内容】

40歳から74歳までの国民健康保険被保険者を対象とし、健康管理や医療費の抑制を目的に健康診査を実施する。
無料の集団健診、日時と医療機関が選択可能な個別健診、通院先の医療機関からの情報提供の3種類がある。

【事業費】

10,455千円（令和7年度）



健康であり続ける②

【事業名】

がん対策事業

【事業内容】

各種がん検診を実施し、早期発見・早期治療を促すとともに、がん治療による外見の変化に悩む市民に対し、経済的、精神的不安の軽減を図る。
(肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、がん患者アピアランスケア助成金交付事業等)

【事業費】

30,647千円（令和7年度）



高齢者等の見守り

【事業名】

認知症サポーター養成講座

【事業内容】

認知症への正しい理解を深め、当事者やその家族を温かく見守る「認知症サポーター」を養成する講座を実施している。市内の企業や学校、地域社会を対象とし、子どもから大人まで幅広い世代が受講可能である。

【事業費】

40千円（令和7年度）



外出機会の創出

【事業名】

高齢者等福祉タクシー利用助成事業

【事業内容】

一定の条件を満たす高齢者等を対象に、通院や買い物等に利用するタクシー料金の一部を助成し、高齢者の外出を支援するもの。
(1枚400円の利用券を1人につき、年間最大48枚交付)

【事業費】

6,246千円（令和7年度）



6 - 1 4 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標4 阿久根に健康生活、共同の輪をつくる。)

(2) ともに支え合う 住み慣れた地域で暮らす

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
就労支援による 自立更生件数	単年	1人	3人	2人	2人	A	
民生委員・児童委員の 活動回数	単年	1,250回	1,246回	1,500回	1,500回	C	

指標	今後の方向性
就労支援による 自立更生件数	一般就労に結び付いた人数は前年度と同数であった。それぞれ障がいの程度や特性があり、就労に繋げることは難しい現状がある。引き続き、一人ひとりの特性等に合わせて、仕事内容や職場環境の整備・理解等、関係機関の間で十分な情報共有を行い、一般就労につなげるよう取り組む。
民生委員・児童委員の 活動回数	前年度と比較すると、活動回数は19件の増となった。また、高齢者に関する相談が846件(67.9%)と最も多く、前年度よりも102件の増であった。引き続き住民福祉の増進を図ることを目的として、支援が必要な方が孤立することのないよう、また、住民の身近な相談相手として継続した活動を行うことができるよう、関係機関とともに活動を支援していく。

住み慣れた地域で暮らす①

【事業名】

障がい児通所支援事業

【事業内容】

障がいを持つ未就学児や就学中の児童を対象として、集団生活への適応や生活能力向上のために必要な訓練等の支援、集団生活や社会生活に適応するための支援を行うもの。

【事業費】

164,475千円（令和7年度）



住み慣れた地域で暮らす②

【事業名】

障がい者等よか活動支援事業

【事業内容】

障がい者等が余暇活動に取り組む際の経済的な負担を軽減することで、生活圏の拡大及び社会参加の促進を図ることを目的として、これらの活動に必要な用具の貸出し又はサービスの利用等に要する経費の一部を助成するもの。

【事業費】

53千円（令和7年度）



住み慣れた地域で暮らす③

【事業名】

障がい者自立支援訓練等給付事業

【事業内容】

障がい者に対し、身体機能の向上や、就労に必要な知識および能力を習得するための訓練等を実施し、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう支援を行うもの。

【事業費】

371,978千円（令和7年度）



住み慣れた地域で暮らす④

【事業名】

生活困窮者自立相談支援事業

【事業内容】

経済的に困窮し最低限度の生活を営むことができなくなるおそれのある者からの相談に包括的に対応するとともに、自立に向けた関係機関との調整等を実施し、生活困窮状態からの早期脱却を目指すもの。

【事業費】

7,611千円（令和7年度）



6-15 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標4 阿久根に健康生活、共同の輪をつくる。)

(3) 性別にとらわれない 男女共同参画の推進

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
各種審議会における 女性の登用率	最終	22.6%	21.2%	24.0%	30.0%	C	男女共同参画推進事業
市の管理職員における 女性の割合	最終	15.0%	24.3%	16.0%	20.0%	A	
市の男性職員の 育児休業取得率	最終	20.0%	60.0%	24.0%	40.0%	A	
PTA役員における 女性の割合	最終	37.2%	36.4%	39.7%	50.0%	B	男女共同参画推進事業

指標	今後の方向性
各種審議会における 女性の登用率	各課等が所管する各種委員会等の委員選出の際、目標値に配慮した選出を依頼する。 また、毎年度、内閣府で実施されている女性の公職参加状況調査の結果を庁内に情報提供するとともに、研修会を開催することにより、女性活躍に対する意識付けを行う。
市の管理職員における 女性の割合	多様な人材の活躍による生産性の向上などを図るため、個人が能力を最大限に発揮できるよう、男女がともに働きやすい職場環境の整備に努める。
市の男性職員の 育児休業取得率	公務職場の魅力向上や有為な人材の確保の観点からも、育児休業等の取得促進を含め、男女ともに誰もが希望に応じて仕事と子育てを両立できる職場環境の整備に努める。
PTA役員における 女性の割合	PTA役員選出の際、目標値に配慮した選出を依頼する。 また、毎年度、内閣府で実施されている女性の公職参加状況調査の結果を庁内に情報提供するとともに、研修会を開催することにより、女性活躍に対する意識付けを行う。

男女共同参画の推進

【事業名】

男女共同参画推進事業

【事業内容】

男女共同参画社会の実現に向け、①男女共同参画社会意識の浸透、②あらゆる分野での実質的な男女共同参画の進展、③一人ひとりの多様な生き方・働き方の実現、④男女が互いの人権を尊重しあう社会づくりを基本目標とする「第3次あくな男女共同参画プラン」の推進を図る。

【事業費】

53千円（令和7年度）



6 - 1 6 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標5 阿久根に安全で快適な環境をつくる。)

(1) 次世代につなぐ

- ① ゼロカーボンシティの実現
- ② 循環型社会の形成

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
マイクログリッドによる CO2削減量	単年	436.5 t-CO2	765.0 t-CO2	670.0 t-CO2	670.0 t-CO2	A	地域マイクログリッド事業
家庭系可燃ごみの 排出量	最終	3,065t	2,949t	3,034t	2,911t	A	生ごみ堆肥化事業

指標	今後の方向性
マイクログリッドによる CO2削減量	目標値670.0t-CO2に対し実績値765.0t-CO2と大きく上回り、エネルギーの地産地消が着実に進展している。今後はこの実績をベースに本市のさらなる脱炭素化を推進するため、マイクログリッド接続施設の追加をはじめ、蓄電システムの最適運用等により、発電した再エネ電力を地域内で無駄なく消費する仕組みについて、事業者と連携しながら協議・検討を進めていきたい。また、市民や市内事業者に対し、本事業の環境的メリットを広く啓発することで、地域一体となった脱炭素の機運を醸成し、平時のCO2削減と災害時のレジリエンス強化を両立する持続可能なまちづくりを展開していく。
家庭系可燃ごみの 排出量	平成25年度に生ごみ堆肥化事業を開始し、家庭系可燃ごみの排出削減に取り組んでいるが、可燃ごみとして生ごみが排出される事例も多いことから、分別の徹底を図る。

ゼロカーボンシティの実現

【事業名】

地域マイクログリッド事業

【事業内容】

再エネの活用推進等を目的として運用するマイクログリッドについて、常時安定した電力供給を行うため、天候不良等により電力需要量が不足した場合のバックアップとして、送配電ネットワークに接続するもの。

【発電実績】 1,688,891kWh（一般家庭406世帯分の年間消費量）

【CO2削減実績】 765.0t-CO2（スギの木54,647本の年間吸収量）

【事業費】

5,272千円（令和7年度）



循環型社会の形成①

【事業名】

生ごみ堆肥化事業

【事業内容】

生ごみを分別収集及び堆肥化し、さらには生成された堆肥を無料提供することにより、市民の分別意識の向上を図り、ごみの減量化ひいては資源循環型社会の形成を推進する。

【事業費】

32,168千円（令和7年度）



循環型社会の形成②

【事業名】

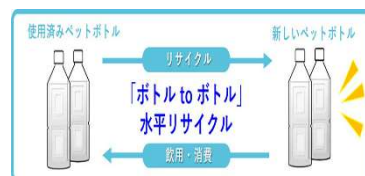
ペットボトルリサイクル事業

【事業内容】

循環型社会の形成と2050年のゼロカーボンシティの実現に向け、サントリーホールディングス(株)等と協定を結び、使用済ペットボトルから新たなペットボトルを再生する水平リサイクルに取り組む。

【事業費】

0千円（令和7年度）



6 - 1 7 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標 5 阿久根に安全で快適な環境をつくる。)

(2) 災害から守る 災害に強いまちづくり

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
各区における防災訓練の実施率	単年	66.0%	84.4%	85.0%	85.0%	B	・土砂災害に対する避難訓練 ・地震・津波に対する避難訓練 ・防災講演会、防災出前講座の実施
消防団員の充足率	単年	92.4%	91.5%	95.0% 以上	95.0% 以上	B	消防団活動支援事業(家族表彰)
住宅用火災警報器の設置率	最終	87.0%	89.7%	88.6%	95.0%	A	住宅用火災警報器普及率向上事業 市広報誌、防災無線、ホームページなど による設置率向上のための広報活動

指標	今後の方向性
各区における防災訓練の実施率	避難場所や避難経路の確認、隣近所への声掛けなど、普段からできることを繰り返し実施することが実災害時の対応につながることから、避難しなくても可能な範囲で実施可能な訓練を実施いただくことについて、引き続き、周知を図り、各区の訓練実施の促進に取り組む。
消防団員の充足率	消防団員の継続確保のため、勤続20年以上の団員の家族等を表彰する制度を設けている。また、令和8年度から消防団員自動車運転免許取得費補助制度を設け、消防団員の確保及び加入促進を図ることとした。今後も引き続き消防団活動について、広く周知するとともに、入団促進のための新たな施策を行い消防団員充足率を向上させ、消防体制の強化及び地域防災力の向上を図り、市民の安心・安全を確保する。
住宅用火災警報器の設置率	住宅用火災警報器の設置率は年々増加傾向にあるが、平成18年の新築住宅への義務設置から20年、既存住宅の義務設置から15年が経過し、また、交換の目安となる10年を超えるものが多いことから設置率の減少が懸念される。未設置世帯への新規設置及び設置済み世帯への機器の交換について、市広報誌やホームページ、イベント等で指導・周知を図る。

災害に強いまちづくり①

【事業名】

消防団活動支援事業

【事業内容】

火災及び災害発生時に消防団員が安全、迅速に現場へ出動し、円滑な現場活動を実施するため、配備から長期経過している普通消防積載車等を計画的に更新整備整備する。

〔令和7年度〕山下分団弓木野班

【事業費】

9,240千円（令和7年度）



災害に強いまちづくり②

【事業名】

住宅用火災警報器普及率向上事業

【事業内容】

未設置世帯に対し、広報誌やホームページ等で周知するとともに、設置世帯への維持管理や設置後10年を経過した場合の交換について指導・広報を行う。併せて自身での設置が困難な65歳以上又は障がいがある方で構成された世帯に対し、消防職員が訪問し取り付け支援を行う。

【事業費】

0千円（令和7年度）



6 - 1 8 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標 5 阿久根に安全で快適な環境をつくる。)

(3) 暮らしを守る

- ① 快適な生活環境の確保
- ② 移動手段の維持・確保

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
汚水処理人口普及率	最終	68.20%	73.36%	72.10%	87.86%	A	
危険空き家の解体件数	累計	75件	15件 (+15)	15件	75件	A	危険空家解体事業
乗合タクシーの 延べ利用者数	単年	2,732人	2,877人	3,500人	3,500人	C	

指標	今後の方向性
汚水処理人口普及率	令和3年度に補助内容を見直し、支援制度の強化を図っている。 [見直し内容] ・単独浄化槽及びくみ取り槽から小型合併処理浄化槽への転換に係る宅内配管設置に対する補助を継続 ・単独浄化槽及びくみ取り槽から小型合併処理浄化槽への転換に対する補助を増額 ・市内業者が施工する場合に補助を増額 また、令和5年度から子育て世帯への支援として、子育て世帯の新築住宅への補助を追加している。引き続き汚水処理人口の向上に向け、制度の周知等に努める。
危険空き家の解体件数	事業の周知が図られており、令和7年度は予算執行率100%となった。危険空家は今後も増加していく見込みであり、計画的に事業を実施していく必要がある。
乗合タクシーの 延べ利用者数	地域公共交通計画にも掲げる目標値達成のため、令和8年10月から、大川地区を除く全地区での増便及び一部地区での土曜運行(現在は平日のみ)を開始する予定である。 今後は、年間を通じて利用実績のない地区があることや、利用者の固定化といった現状の課題を解消し、さらに高まる需要へ対応すべく、市報、ホームページ、チラシ等を活用した周知を強化し、より一層の利用促進を図っていく。

快適な生活環境の確保①

【事業名】
小型合併処理浄化槽設置整備事業

【事業内容】
単独浄化槽及びくみ取り槽から小型合併処理浄化槽への転換、子育て世帯における新築住宅への設置に係る費用を補助する。

【事業費】
52,527千円（令和7年度）



快適な生活環境の確保②

【事業名】
危険空家解体事業

【事業内容】
解体費の30万円以上が補助対象で、解体費の3分の2以内で上限60万円の補助金を交付する。

【事業費】
9,000千円（令和7年度）



移動手段の維持・確保①

【事業名】
乗合タクシー運行事業

【事業内容】
タクシーよりも安価で、料金一律（1回200円）の乗合タクシーを運行し、高齢者等の交通弱者の経済的な負担を軽減し、かつ利便性のある地域公共交通体系を構築する。

【事業費】
4,392千円（令和7年度）



移動手段の維持・確保②

【事業名】
交通空白解消対策事業

【事業内容】
本市では、深夜帯において「交通空白」の時間帯が発生していることから、日本版ライドシェア等の導入検討を行った。
市民向けアンケート等によるニーズ調査や実証運行の結果を踏まえて、今後の方向性を整理した。

【事業費】
12,000千円（令和7年度）



6 - 1 9 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標 6 阿久根にデジタル生活基盤をつくる。)

(1) 市民サービスの D X 化

- ① 行政手続のオンライン化
- ② タイムリーな情報発信

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
マイナンバーカード保有率	最終	80.9%	83.8%	84.7%	100.0%	B	マイナンバーカード交付事業
オンライン対応した手続数	最終	29件	29件	35.2件	60件	C	
公式LINE友達登録者数	最終	3,624人	4,040人	3,919人	5,100人	A	イベント、補助金、生活の支援、災害などの市政情報を発信

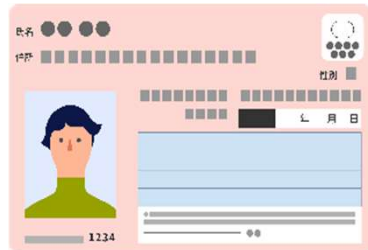
指標	今後の方向性
マイナンバーカード保有率	保有率の向上に併せて、マイナンバーカードによる手続の利便性や時間的なゆとりなどの快適性を広く周知・広報し、より効果的な利活用へとつなげていく。
オンライン対応した手続数	全庁的に手続の洗い出しを行い、申請件数の多い手続を中心にオンライン化を進める。
公式LINE友達登録者数	分かりやすい情報提供、迅速かつ正確な情報発信及び内容の充実に努めるとともに、ホームページと連携した情報発信を行う。

行政手続のオンライン化

【事業名】
マイナンバーカード交付事業

【事業内容】
マイナンバーカードの普及により、本人確認書類としての利用、健康保険証としての活用、各種行政手続のオンライン化を推進し、日常生活の利便性を図ることを目的とする。

【事業費】
7,833千円（令和7年度）



タイムリーな情報発信

【事業名】
市公式LINE事業

【事業内容】
イベント、補助金、生活の支援、災害などの市政情報を発信。
令和8年1月にはメニュー画面をリニューアルし、利便性を高めた。

【事業費】
0千円（令和7年度）



配信イメージ▶

6 - 2 0 K P I の達成状況と事業の主な取組

(基本目標 6 阿久根にデジタル生活基盤をつくる。)

(2) 庁内業務の D X 化

① ペーパーレスの推進 ② 生成 A I の利活用推進
③ デジタル人材の育成

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R7 (実績)	R7 (目標)	R11 (目標)	評価	主な事業
カウンタ式プリンタの印刷枚数	最終	2,323,489枚	1,903,970枚	2,168,591枚	1,549,000枚	A	
文書管理システムの 電子決裁利用率	最終	9.3%	21.7%	19.4%	60.0%	A	
生成AIの利活用件数	最終	0件 (未導入)	0件 (未導入)	200件	1,000件	D	
デジタル研修会の延べ受講者数	累計	20人	229人 (+229)	200人	1,000人	A	
ITパスポート試験の合格者数	累計	5人	5人 (+5)	6人	30人	C	

指標	今後の方向性
カウンタ式プリンタの印刷枚数	電子決裁のさらなる利用率向上や不要な資料印刷の廃止を徹底する。
文書管理システムの 電子決裁利用率	原則全ての決裁を電子化し、紙での決裁には特別な理由書の添付を必須とするなど、紙の利用ハードルを意図的に高くする等の方策を検討する。
生成AIの利活用件数	令和8年7月から、自治体専用の生成AIサービスの利用を開始予定。
デジタル研修会の延べ受講者数	個人情報保護や情報セキュリティなど、住民情報を扱う上で不可欠な研修の受講を必須化し、全職員の確実な受講完了を目指す。
ITパスポート試験の合格者数	eラーニングによる学習の環境を整備するなど、職員のIT技術の習得を積極的に支援する。

ペーパーレスの推進

【事業名】

ペーパーレス推進事業

【事業内容】

令和6年度に議場や一部会議室へ導入したWi-Fiを、庁内のほぼ全域で利用できるよう拡張整備を行った。ノートパソコン等でのペーパーレスな資料共有が進み、印刷枚数の削減につながった。

【事業費】

3,093千円（令和7年度）

Wi-Fi用アクセスポイント（議場）▶



7 総合戦略取組状況（令和7年度）

基本目標	指標数	主な事業	K P I 達成状況（R7）			
			A 目標以上	B 予定どおり	C 概ね予定 どおり	D 改善・見直 しが必要
1. 阿久根に産業の成長をつくる	13	・創業支援支援事業 ・副業促進及び生産性向上による産業活性化事業 ・農業用資材等購入支援事業 など	6	1	1	5
2. 阿久根に人の流れをつくる。	10	・体験型観光コンテンツ開発等事業補助 ・スポーツイベント実施事業 など	5	2	0	3
3. 阿久根に家族の夢をつくる。	11	・縁結びサポート事業 ・子育て支援コンシェルジュ事業 など	5	2	2	2
4. 阿久根に健康生活、 共同の輪をつくる。	11	・特定健康診査等事業 ・男女共同参画推進事業 など	4	3	2	2
5. 阿久根に安全で快適 な環境をつくる。	8	・地域マイクログリッド事業 ・危険空家解体事業 など	5	2	1	0
6. 阿久根にデジタル生活 基盤をつくる。	8	・マイナンバーカード交付事業 ・SNSによる市政情報の発信 など	4	1	2	1
合 計	61		29 (48%)	11 (18%)	8 (13%)	13 (21%)

8 総合戦略を推進するための新たな取組（令和8年度）

基本目標	事業名	概要
1. 阿久根に産業の成長をつくる。	中小企業雇用促進事業(新規)	中小企業における新規就労者が長期的に就労を継続しやすい環境づくりを促進し、更なる人材確保の取組を後押しするため、一定の条件を満たす新規就労者を正規雇用し、その就労者が継続して1年以上就労した実績のある市内中小企業に対して支援金を交付する。
	起業支援事業(拡充)	市内での新たな起業を促進し、地域経済の活性化を図るため、市内で起業した阿久根市在住の方を対象に起業に係る費用の一部を補助する。
	漁業後継者就業支援金(拡充)	新規漁業者の確保と定着を促し、地域の水産業を活性化するため、支援制度を以下のとおり拡充・見直した。 【主な改正ポイント】 ○対象要件の変更 ・年齢上限を「40歳未満」から「60歳以下」に引上げ。 ・「年間操業日数」と「水揚げ実績」見込みを要件に追加。 ○支援内容(期間・金額)の変更 ・交付期間:55歳未満は2年間 / 55歳以上は1年間 ・交付金額:45歳未満は150万円 / 45歳以上は100万円
	農作物高温障害対策支援事業(新規)	近年の気温上昇の影響により、品質の低下や収量の減少等が発生している農作物の高温障害の低減に資する資材購入等に係る経費の一部を補助し、農業経営の安定化を図る。
	森林環境譲与税事業 阿久根市再造林支援事業(新規)	森林の伐採後の再造林を促進し森林の持つ公益的機能の維持増進を図るため、再造林に係る事業に要する経費に対して支援する。

8 総合戦略を推進するための新たな取組（令和8年度）

基本目標	事業名	概要
2. 阿久根に人の流れをつくる。	阿久根大島行渡船事業継続支援補助事業（新規）	阿久根大島への安定的な渡船手段の確保を図るため、市内において、阿久根大島への一般旅客定期航路事業を営む者に対して補助金を交付するもの。
	体験型観光コンテンツ企画業務委託事業（新規）	市内の体験型観光コンテンツの企画・宣伝等を行い、継続実施及び更なる拡充を図るため、体験型観光コンテンツ開発及び実施のサポートを元地域おこし協力隊に委託する。
	阿久根市観光誘客イベント支援事業（新規）	景観、歴史、自然、文化、産業などの観光資源を広くPRし、交流人口の増加や市内経済の活性化に資する活動を支援するため、観光誘客を図ることを目的としたイベントを主催する団体に対して補助する。
	もっと知りたい！行ってみたい！阿久根の魅力発信事業（拡充）	特産品カタログや観光PRキャラクター「阿っくん」のグッズを新たに作成し、阿久根市の認知度を向上させ、「阿久根ファン」獲得、観光客の誘致、特産品の販売促進を強化し、新たな交流人口の増加を図る。

8 総合戦略を推進するための新たな取組（令和8年度）

基本目標	事業名	概要
3. 阿久根に家族の夢をつくる。	「阿久根で縁結び」出会いサポート事業(拡充)	令和8年度から新たに、夫婦として新生活をスタートする世帯に対し、住居費や引越し費用などの一部を支援する「結婚新生活支援補助金」を交付し、経済的不安から結婚に踏み切れないカップルへの支援を行う。
	妊産婦等交通費支援事業(新規)	安心して妊娠・出産できる環境づくりを推進するため、分娩や不妊治療などの受診の際に利用した交通費(タクシー利用料含む。)の一部を助成する。
	保育士等人材確保奨励金事業(新規)	保育所等の保育士不足の解消と更なる保育の質の向上を図るため、保育士として新規入職および復職し一定期間就業した方に対して、奨励金を支給する。
	体育施設利用促進補助事業(新規)	阿久根市スポーツ協会に加盟する団体が、総合運動公園施設等において競技会等を開催する場合、大会経費を補助し、地域のスポーツ振興を担う加盟団体を支援するために創設。補助対象となる競技会等を開催した場合、補助対象経費の1/2(上限2万円)を補助する。
4. 阿久根に健康生活、共同の輪をつくる。	新市立図書館建設事業(新規)	建設工事に本格着手し、市民の利便性と安全性に配慮した空間づくりを進めるとともに、情報リテラシー向上や心の成長を支える重要な学びの拠点として、また人が集い文化の交流が生まれる拠点として、新図書館の開館に向けた事業を推進する。
	介護人材確保育成支援事業(新規)	介護事業所等における新たな人材の確保及び職員の定着、専門性の向上とキャリアアップを図るため、介護に関する資格取得及び研修等の受講を支援することで、地域における質の高い介護サービスの安定供給体制を構築する。

8 総合戦略を推進するための新たな取組（令和8年度）

基本目標	事業名	概要
5. 阿久根に安全で 快適な環境をつくる。	再生可能エネルギー導入推進戦略策定事業（新規）	環境問題に関する国内外の動向を踏まえ、中長期的な観点から将来を見据えて、本市の再生可能エネルギーの利用促進や導入可能性について検討を行い、将来にわたり環境にやさしく快適に暮らせるまちの実現に向けた計画を策定する。
	消防団員自動車運転免許取得費補助事業（新規）	所属する分団・班の車両を運転することができない消防団員に対して、準中型免許の取得及びAT限定免許の限定解除に係る費用の一部を補助することにより、消防団員の確保及び加入促進を図る。
	管理不全空家等解体撤去事業（新規）	危険空家等になる前の管理不全空家等の除去を行う者に対し、解体費の3分の1以内で上限30万円の補助金を交付する。
	普通自動車第二種免許取得支援事業（新規）	交通事業者の人材確保及び人材育成を支援し、持続可能な公共交通の構築及び活性化を図るため、交通事業所の従業員の第二種運転免許取得に要する経費の一部を補助する。
	移動販売支援事業（新規）	身近な商店の減少や高齢化等により、日常生活に必要な食料品等の買い物が困難な状況にある方の利便性を確保するため、移動販売車により日用品等の販売を行う事業者に対し、運営に係る経費の一部を補助する。
6. 阿久根にデジタル生活 基盤をつくる。	生成AIサービス導入事業（新規）	LGWANの閉域環境で安全に利用でき、入力データがAIの学習に使われない、高セキュリティな自治体向けの生成AIサービスを導入する。